

(9)	"	二十日	甲種一組第二回掛金給付口二三圓(甲一口)、未給付口一、二一八圓(乙外五七口) (丙入札差額充當額一七六圓九〇錢)、計一、二四一圓入金ス
(10)	"	"	甲種一組第二回入札會執行、乙落札ス 落札額八二〇圓、入札差金一八〇圓、會社收得額一八圓、分配額(五七口)一六 一圓八八錢、一口當分配額二圓八四錢、分配端金二二錢(勘定ヲ起サズ)
(11)	"	二十二日	丙甲種一組第二回掛金二一圓(丙入札差金三圓五錢)及同三回分(期限前)二一圓 計四二圓入金ス
(12)	"	二十五日	社員A外四名給料二六〇圓、集金人E給料四〇圓、同集金歩合六圓三〇錢、雜 費三五圓一八錢支拂フ
(13)	"	三月十日	甲種一組第三回抽籤會通知、丙外五十七名ニ發送、切手代一圓一六錢支拂フ
(14)	"	二十日	甲種一組第三回掛金未給付口(五六口)一、一七六圓(丙入札差金一五九圓四錢) 入金ス、入札差金一六一圓八八錢立替フ
(15)	"	"	甲種一組第三回抽籤會執行、丙當籤ス、丙終會受給申出ズ(勘定ヲ起サズ)
(16)	"	二十四日	甲種一組乙ニ落札金八二〇圓給付ス、第三回分二一圓入金ス、掛金一、二五四圓 (未給付口、六三圓)、入札差金立替金一六一圓八八錢ヲ支拂フ
(17)	"	二十五日	社員A外四名給料二六〇圓、集金人E給料四〇圓、歩合七圓一四錢、調査旅費 三圓五二錢(B社員)、雜費四〇圓八六錢ヲ支拂フ

(18)	"	"	甲宛延滞掛金拂込方催告ヲ發ス、書留料一八錢支拂フ
(19)	"	"	M新聞社ニ廣告料三〇圓支拂フ
(20)	"	四月十日	甲種一組甲ニ一時償還ヲ請求シタルモ行衛不明ニテ拂込ヲ爲サズ、依ツテ擔保 物ヲ處分ス、一、一五〇圓入金六四圓缺損ニ付銷却ス
(21)	"	十五日	甲種一組戊ニ給付金限度貸付トシテ一、〇〇〇圓貸付ク、保證人二人、利子歩 合日歩二錢五厘、毎月二十日拂ノ約
(22)	"	二十日	甲種一組第四回掛金給付口二三圓(一口)、未給付口一、一三三圓(五三口)、計 一、一三六圓入金ス
(23)	"	"	第四回入札會執行、已落札、落札額八四〇圓、入札差金一六〇圓、會社收得額 一六圓、分配額(五二口)一四三圓五二錢、一口當分配額二圓七六錢、分配端金 四八錢(勘定ヲ起サズ)
(24)	"	二十五日	社員A外四名給料二六〇圓、集金人E給料四〇圓、歩合八圓四二錢、雜費五一 圓八五錢、乙種無盡營業案内申込書、通帳代一五六圓五〇錢、F印刷所ニ支拂フ
(25)	"	三十日	乙種無盡(東京式)一組加入預約金千外三十名分三二〇圓(一口一〇圓)受入ル
(26)	"	五月三日	乙種一組加入預約金、子外二十八名分二九〇圓受入ル
(27)	"	"	當座預金一、〇〇〇圓S銀行ニ預入ル
(28)	"	四日	乙種一組成立、契約證書發行子外五十九名ニ對シ發會通知發送、印紙代一圓八

無盡簿記提要

(48)	"	二十五日
(49)	"	"
(50)	"	三十日
(51)	"	"
(52)	"	"
(53)	"	"
(54)	"	"
(55)	"	"
(56)	"	"
(57)	"	"
(58)	"	"
(59)	"	"
(60)	"	"

預金利子二一〇圓三八鈔、銀行ヨリ受入ル
 社員給料二六〇圓(A外四名分)、集金人E給料四〇圓、歩合五圓、雜費一一三圓六八鈔支拂フ
 甲種一組庚ニ拂込金ヲ限度トシテ一〇〇圓貸付ク、期間三百日、日歩二錢、引料六圓
 乙種一組受給付者子海外轉住ノタメ一時償還申出ズ、未經過掛金一、〇四六圓内免除額七八圓五六錢ヲ差引キ九六七圓四四錢入金ス
 甲種一組第六回未給付口掛金二一圓、第五回二一圓、乙種一組第二回掛金八〇圓(四口)、計一二二圓入金ス
 社員賞與二六〇圓、集金人Eへ賞與四〇圓支給ス
 滿鐵株式配當二〇〇圓受入ル
 當座預金二、〇〇〇圓、銀行へ預入ル
 當座預金一〇、〇〇〇圓ヲ定期預金ニ振替フ
 無盡利益金四二二圓四〇鈔組入ル
 給付補填備金六三圓四二鈔組入ル
 入札差金補償備金一七圓八四鈔組入ル
 集金費ヨリ一六圓勸誘費ニ振替フ

傳票

(二) 傳票

凡例

2 1 記帳例題中同一勘定科目ノモノハ其ノ一ダケ記載ヲ示シ其ノ他ハ省略シタルモノアリ
 例(1)ハ記帳例題ノ(1)ヲ示シ、帳簿ニモ同ジ例(1)ト記シ照合ニ便ニシタリ

例(1) 入金傳票

加入豫約金勘定		昭和15年1月10日	
摘要	金額		
集金員Eヨリ甲外19名分	2	0	00
甲種1組 @10.00			
内譯別票ノ通リ			
合計	2	0	00

例(3) 出金傳票

通信費勘定		昭和15年1月16日	
摘要	金額		
神田郵便局2錢切手60	1	2	0
合計	1	2	0

無盡簿記提要

例(5) 出金傳票

無盡會諸費勘定		昭和15年1月20日	
摘要	金額		
A 雜貨店	1	8	00
甲種一組發會記念品代			
合計	1	8	00

例(7) 出金傳票

給料手當勘定		昭和15年1月25日	
摘要	金額		
A 一月分	1	0	00
B "	6	0	00
C "	5	0	00
D "	3	0	00
F "	2	0	00
合計	2	6	00

例(3) 出金傳票

税金勘定		昭和15年1月16日	
摘要	金額		
神田郵便局3錢印紙60	1	8	0
合計	1	8	0

例(4) 振替傳票

		昭和15年1月20日	
借方	摘要	貸方	
	未給付口加入掛金 預約金		
2100	甲種1組1回掛金甲	1	000
2100	乙	1	000
2100	丙	1	000
"	"	"	"
"	差引現金收入	6	6000
126000	合計	1	26000

例(7) 出金傳票

雜費勘定		昭和15年1月25日	
摘要	金額		
F 雜費其他	2350		
合計	2350		

例(8) 振替傳票

甲種1組10番1回落札 甲 殿 昭和15年2月10日					
科目	摘要	借方	科目	摘要	貸方
無盡利益金	全	25800	給付口金	全	125800
入札差金	全	20000	入札差金	全	2005
入札益	全	2005			
	差引現金支拂	80000			
合計		127805	合計		127805

例(7) 出金傳票

集金費勘定		昭和15年1月25日	
摘要	金額		
E 一月分給料	4000		
合計	4000		

例(7) 出金傳票

勸誘費勘定		昭和15年1月25日	
摘要	金額		
A 甲種一組 10口 @6.00	6000		
B " 5口	3000		
D " 5口	3000		
E " 40口	24000		
合計	36000		

例(9) 入金傳票

給付口掛金勘定			昭和15年2月20日		
組名	回数	通番	氏名	金額	
甲 1	2	10	甲	23	00
合 計				23	00

例(14) 振替傳票

昭和15年3月20日	
借 方	貸 方
入札差金	入札差金立替金
甲種1組2回分	全 上
合 計	16188

例(8) 振替傳票

昭和15年2月10日

借 方	金 額	貸 方
給付口掛金		未給付口掛金
甲種1組甲1	2100	全 1
合 計	2100	

例(9) 振替傳票

昭和15年2月20日

借 方	摘 要	貸 方
	未給付口掛金 入札差金	
2100	甲種1組2回乙	305
2100	丁	305
2100	"	305
2100	小 計	17690
	差引現金收入	104110
121800	合 計	121800

例 (24) 出金傳票

印刷費勘定		昭和15年4月25日	
摘	要	金	額
F印刷所		1	5650
	營業案内申込書		
	通帳代		
	合計	1	5650

例 (27) 出金傳票

預ヶ金勘定		昭和15年5月3日	
摘	要	金	額
S銀行當座		1	000000
	合計	1	000000

例 (20) 振替傳票

借方		摘要	貸方	
		給付口掛金 給付口掛金銷却		
1	21400	甲種1組10甲		6400
		擔保物處分一時徴收		
		差引現金收入		115000
		合計		121400
1	21400			121400

例 (21) 出金傳票

給付金限度貸付勘定		昭和15年4月15日	
摘	要	金	額
甲種1組戊		1	000000
	利子@2.5 20日拂		
	拂込金 63.00		
	保證人二人		
	合計	1	000000

例 (43)

振替傳票

甲種1號15番1—2回解約 丁殿 昭和15年6月20日

科目	摘要	借方	科目	摘要	貸方
解返戻金	全	4 2 0 0	未給付口掛金	全	4 2 0 0
解手數料	全	2 0 0 0	解返戻金	全	2 3 0 5
入札差金	全	3 0 5			
合計		6 5 0 5	合計		6 5 0 5

例 (48)

入金傳票

預ケ金利息勘定 昭和15年6月25日

摘要	金額
S 銀行 預ケ金利子	2 1 0 3 8
合計	2 1 0 3 8

例 (38)

振替傳票

乙種1組5番1回當籤子 殿 昭和15年5月25日

科目	摘要	借方	科目	摘要	貸方
無盡利益備金	全	8 6 0 0	給付口掛金	全	1 0 8 6 0 0
當預ケ金	S銀行#1	1 0 0 0 0 0			
合計		1 0 8 6 0 0	合計		1 0 8 6 0 0

例 (38)

振替傳票

昭和15年5月25日

借方	金額	貸方
給付口掛金		未給付口掛金
乙種1組子1	2 0 0 0	1
合計	2 0 0 0	

例 (53) 出 金 傳 票

集 金 費 勘 定		昭 和 15 年 6 月 30 日	
摘 要	金 額		
E 賞 與		4	0 0 0
合 計		4	0 0 0

例 (54) 入 金 傳 票

株 式 配 當 金 勘 定		昭 和 15 年 6 月 30 日	
摘 要	金 額		
滿 鐵 額 面 ¥ 5,000.00 @ 8%		2	0 0 0
合 計		2	0 0 0

例 (50) 振 替 傳 票

昭 和 15 年 6 月 30 日

借 方	摘 要	貸 方
	貸付金利息 拂込金限度貸付	
6 0 0	300日@ .20 庚	1 0 0 0 0
	拂込金甲種 1組 6回 126.00	
9 4 0 0	差引現金支拂	
1 0 0 0 0	合 計	1 0 0 0 0

例 (51) 振 替 傳 票

No. _____ 昭 和 15 年 6 月 30 日

借 方	摘 要	貸 方
	給付口掛金 掛金割戻金	
1 0 4 6 0 0	乙種1組子3-60回一時償還 年三分=テ割引	7 8 5 6
	差引現金收入	9 6 7 4 4
1 0 4 6 0 0	合 計	1 0 4 6 0 0

例 (56) 振替傳票 昭和15年6月30日

借方	金額	貸方
定期預金		當座預金
S. B 定期 15/6.30 1.20@34	1000000	

例 (57) 振替傳票 昭和15年6月30日

借方	金額	貸方
無盡利益金	42240	無盡利益備金
給付補填備金	6342	給付補填備金繰入
入札差金補償備金	1784	入札差金補償備金繰入
集金費	11600	勸誘費修正
合計	61966	合計

振替
口記簿

(II) 振替簿

(1)

日 記 帳

貸 方

振替 替定	摘 要	元 了	振替 收入	現 收	合 計	振替 替定	摘 要	元 了	振替 支拂	現 支	合 計
未. 掛	給付口掛金 乙1丑1—2 甲1.62口	4000	4000	4600	8600	給付口掛金 1丑落札金給付 入札差金 上	29600	29600	80000	1,08600	
入. 差 給. 掛	未給付口掛金 甲1.651口 入札差金 2 無盡利益備金 乙1 入札差金 乙1.丑 貸付金利息 戊	14076 20000 8600 2020	93024	1,07100	2020 20000 8600 2020	入札差金 同 甲1.651口分 未給付口掛金 乙1丑 1—2	14076 4000	16076 4000	80000 2,48697	1,28696 2,48647	
計		48696	98374	1,47070		計	48696	80000	1,28696		
前日 計		48696	2,30328	2,30323		本日 計	48696	3,28697	3,77393		
合		48696	3,28697	3,77393		合	48696	3,28697	3,77393		

振替簿

107

無
盡
簿
記
提
要

入札差金立替金

例	15年 月日	摘 要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	残高
(14)	3.20	日記帳		16188		借	16188
(16)	24	"			16188		0

株 式

例	(繰越)	1.1	繰越日記	6,000.00		借	6,000.00
---	------	-----	------	----------	--	---	----------

給付金限度貸付

例	(21)	4.15	日記帳	1,000.00		借	1,000.00
---	------	------	-----	----------	--	---	----------

拂込金限度貸付

例	(50)	6.30	日記帳	100.00		借	100.00
---	------	------	-----	--------	--	---	--------

營業用土地建物什器

例	(繰越)	1.1	繰越日記	17,412.50		借	17,412.50
---	------	-----	------	-----------	--	---	-----------

拂込未済資本金

例	(繰越)	1.1	繰越日記	50,000.00		借	50,000.00
---	------	-----	------	-----------	--	---	-----------

二
一

總
勘
定
元
帳

(2) **總勘定元帳**
當座預金

例	15年 月日	摘 要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	残高
(繰越)	1.1	繰越日記		24,000.00		借	24,000.00
(27)	5.3	日記帳		1,000.00		"	25,000.00
(38)	25	"			1,000.00	"	24,000.00
(55)	6.30	"		2,000.00		"	26,000.00
(56)	"	"			10,000.00	"	16,000.00

定期預金

例	(56)	6.30	日記帳	10,000.00		借	10,000.00
---	------	------	-----	-----------	--	---	-----------

給付口掛金

例	(4)	1.20	日記帳	1,258.00	21.00	借	1,237.00
(9)	2.20	"			23.00	"	1,214.00
(16)	3.24	"		1,254.00	63.00	"	2,405.00
(20)	4.10	"			1,214.00	"	1,191.00
(?)	20	"			23.00	"	1,168.00
(32)	5.10	"		1,252.00	84.00	"	2,336.00
(35)	20	"			23.00	"	2,313.00
(38)	25	"		1,086.00	20.00	"	3,379.00
(39)	6.5	"		1,250.00	105.00	"	4,524.00
(40)	10	"			20.00	"	4,504.00
(44)	20	"			46.00	"	4,458.00
(47)	"	"		1,086.00	40.00	"	5,504.00
(51)	30	"			1,046.00	"	4,458.00

第
六
章
記
帳
實
例

二
一
〇

解約返戻金

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借又 貸	残高
(43)	6.15	日記帳		2305	4200	貸	1895

給付補填備金

例 (58)	6.30	日記帳			6342	貸	6342
-----------	------	-----	--	--	------	---	------

入札差金補償其他備金

例 (59)	6.30	日記帳			1784	貸	1784
-----------	------	-----	--	--	------	---	------

無盡利益備金

例 (6)	1.20	日記帳			25800	貸	25800
(16)	3.24	"			25400	"	51200
(32)	5.10	"			25200	"	76400
(38)	25	"			8600	"	85000
(39)	6.5	"			25000	"	1,10000
(47)	20	"			8600	"	1,18600
(57)	30	"		42240		"	76360

加入豫約金

例 (1)	1.10	日記帳			20000	貸	20000
(2)	14	"			40000	"	60000
(4)	20	"		60000		"	0
(25)	4.30	"			31000	"	31000
(26)	5.3	"			29000	"	60000
(29)	10	"		60000		"	0

前期損益金

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借又 貸	残高
(繰越)	1.1	繰越日記		1,41749		借	1,41749

未給付口掛金

例 (4)	1.20	日記帳			1,26000	貸	1,26000
(8)	2.10	"		2100		"	1,23900
(9)	20	"			1,21800	"	2,45700
(11)	22	"			4200	"	2,49900
(14)	3.20	"			1,17600	"	3,67500
(16)	24	"		6300	2100	"	3,63300
(22)	4.20	"			1,11300	"	4,74600
(29)	5.10	"		8400	1,20000	"	5,86200
(35)	20	"			1,15500	"	7,01700
(38)	25	"		2000		"	6,99700
(39)	6.5	"		10500		"	6,89200
(40)	10	"			1,08000	"	7,97200
(43)	15	"		4200		"	7,93000
(44)	20	"		4000	1,07100	"	8,96100
(52)	30	"			12200	"	9,08300

入札差金

例 (8)	2.10	日記帳		2005	20000	貸	17995
(9)	20	"		17690		"	305
(11)	22	"		305		"	0
(14)	3.20	"		15904	16188	"	284
(16)	24	"		18000	18000	"	284
(32)	5.10	"		1648	16000	"	14636
(35)	20	"		14076		"	560
(39)	6.5	"		1648	16000	"	14912
(43)	15	"			305	"	15217
(44)	20	"		16096	20000	"	19121

無盡簿記提要

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借又 貸	残高
(34)(35)	5.20	日記帳		1,187.00	140.76	借	2,776.47
(37)(38)	25	"		1,106.00	1,838.32	"	2,044.13
(39)	6.5	"		531.48	1,371.48	"	1,204.13
(40)	10	"		1,100.00		"	2,304.13
(42)(43)	15	"		65.05	66.19	"	2,303.05
(44)-(47)	20	"		1,470.70	1,286.96	"	2,486.79
(48)(49)	25	"		210.38	418.68	"	2,278.49
(50)-(60)	30	"		12,993.66	14,098.22	"	1,173.93

無盡利益金

例 (57)	6.30	日記帳			422.40	貸	422.40
-----------	------	-----	--	--	--------	---	--------

入札差金益

例 (8)	2.10	日記帳			20.05	貸	20.05
(16)	3.24	"			18.12	"	38.17
(32)	5.10	"			16.48	"	54.65
(39)	6.5	"			16.48	"	71.13
(47)	20	"			20.20	"	91.33

解約手数料

例 (43)	6.15	日記帳			20.00	貸	20.00
-----------	------	-----	--	--	-------	---	-------

二二五

擔保見合金

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借又 貸	残高
(33)	5.10	日記帳			100.00	貸	100.00

資本金

例 (繰越)	1.1	繰越日記			100,000.00	貸	100,000.00
-----------	-----	------	--	--	------------	---	------------

現金

例 (繰越)	1.1	繰越日記		100,000.00	98,829.99	借	1,170.01
(1)	10	日記帳		200.00		"	1,370.01
(2)	14	"		400.00		"	1,770.01
(3)	16	"			3.00	"	1,767.01
(4)(5)	20	"		1,260.00	618.00	"	2,409.01
(7)	25	"			683.50	"	1,725.51
(8)	2.10	"		499.05	1,299.05	"	925.51
(9)	20	"		1,241.00	176.90	"	1,989.61
(11)	22	"		42.00	3.05	"	2,028.56
(12)	25	"			341.48	"	1,687.08
(13)	3.10	"			116	"	1,685.92
(14)	20	"		1,337.88	320.92	"	2,702.88
(16)	24	"		698.00	1,497.00	"	1,903.88
(17)-(19)	25	"			381.88	"	1,522.00
(20)	4.10	"		1,214.00	64.00	"	2,672.00
(21)	15	"			1,000.00	"	1,672.00
(22)	20	"		1,136.00		"	2,808.00
(24)	25	"			516.77	"	2,291.23
(25)	30	"		310.00		"	2,601.23
(26)(27)	5.3	"		290.00	1,000.00	"	1,891.23
(28)	4	"			300	"	1,888.23
(29)-(33)	10	"		1,812.48	1,970.48	"	1,730.23

第六章記帳實例

二二四

税金

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借又 貸	残高
(3)	1.16	日記帳		180		借	180
(28)	5.4	"		180		"	360

勸誘費

例 (7)	1.25	日記帳		36000		借	36000
(37)	5.25	"		36000		"	72000
(60)	6.30	"		11600		"	83600

集金費

例 (7)	1.25	日記帳		4000		借	4000
(12)	2.25	"		4630		"	8630
(17)	3.25	"		4714		"	13344
(24)	4.25	"		4842		"	18186
(37)	5.25	"		4735		"	22921
(49)	6.25	"		4500		"	27421
(53)	30	"		4000	11600	"	19821

給料手當

例 (7)	1.25	日記帳		26000		借	26000
(12)	2.25	"		26000		"	52000
(17)	3.25	"		26000		"	78000
(24)	4.25	"		26000		"	1,04000
(37)	5.25	"		26000		"	1,30000
(49)	6.25	"		26000		"	1,56000
(53)	30	"		26000		"	1,82000

貸付金利息

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借又 貸	残高
(34)	5.20	日記帳			900	貸	900
(46)	6.20	"			750	"	1650
(50)	30	"			600	"	2250

預け金利息

例 (48)	6.25	日記帳			21038	貸	21038
-----------	------	-----	--	--	-------	---	-------

株式配當金

例 (54)	6.30	日記帳			20000	貸	20000
-----------	------	-----	--	--	-------	---	-------

給付補填備金繰入

例 (58)	6.30	日記帳		6342		借	6342
-----------	------	-----	--	------	--	---	------

入札差金補償備金繰入

例 (59)	6.30	日記帳		1784		借	1784
-----------	------	-----	--	------	--	---	------

給付口掛金銷却

例 (20)	4.10	日記帳		6400		借	6400
-----------	------	-----	--	------	--	---	------

廣告費

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	殘 高
(19)	3.25	日記帳		3000		借	3000

雜費

例(7)	1.25	日記帳		2350		借	2350
(12)	2.25	"		3518		"	5868
(17)	3.25	"		4104		"	9972
(24)	4.25	"		5185		"	15157
(37)	5.25	"		5537		"	20694
(49)	6.25	"		11368		"	32062

掛金割戻金

例(51)	6.30	日記帳		7856		借	7856
-------	------	-----	--	------	--	---	------

旅費

例	15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	殘 高
(17)	3.25	日記帳		352		借	352

無盡會諸費

例(5)	1.20	日記帳		1800		借	1800
(31)	5.10	"		1800		"	3600

通信費

例(3)	1.16	日記帳		120		借	120
(13)	3.10	"		116		"	236
(18)	25	"		18		"	254
(28)	5.4	"		120		"	374
(42)	6.15	"		110		"	484

印刷費

例(24)	4.25	日記帳		15650		借	15650
-------	------	-----	--	-------	--	---	-------

消耗品費

例(37)	5.25	日記帳		960		借	960
-------	------	-----	--	-----	--	---	-----

		株主勘定			
50,000.00	50,000.00	資本金	100,000.00	100,000.00	
	0	拂込未済資本金			
1,417.49	1,417.49	法定積立金			
127,504.68	1,173.93	前期損益		126,330.75	
	107,561.92	現金勘定	110,238.02		
		小計			
		損益勘定			
	63.42	無盡利益金	422.40	422.40	
	17.84	入札差金益	91.33	91.33	
	64.00	解約手数料	20.00	20.00	
	3.60	貸付金利息	22.50	22.50	
	836.00	預ヶ金利息	210.38	210.38	
	314.21	有價証券利息	0		
	1,820.00	株式配當金	200.00	200.00	
	3.52	雜	0		
	36.00	利益金小計	966.61	966.61	
	4.84	給付補填備金繰入			
	156.50	入札差金補償備金繰入			
	9.60	給付口掛金銷却			
	30.00	税金			
	320.62	勸誘費			
	78.56	集金費		116.00	
	3,758.71	給付料			
		旅費			
		無盡會諸費			
		通信費			
		印刷費			
		消耗品費			
		廣告費			
		雜費			
		掛金割戻金			
		損失金小計		116.00	
253,835.43	111,204.63	合計	111,204.63	253,835.43	

日計表(期末)

昭和15年6月30日 無盡株式會社

借方		勘定科目	貸方	
合計	残高		残高	合計
		無盡勘定		
7,186.00	4,458.00	給付口掛金		2,728.00
161.88		入札差金立替金		161.88
375.00		未給付口掛金	9,083.00	9,458.00
873.72		入札差金	191.21	1,064.93
23.05		解約返戻金	18.95	42.00
		給付補填備金	63.42	63.42
		入札差金補償備金	17.84	17.84
422.40		無盡利益備金	763.60	1,186.00
		預ヶ金勘定		
27,000.00	16,000.00	當座預金		11,000.00
10,000.00	10,000.00	定期預金		
		郵便振替貯金		
		有價証券勘定		
		國債		
6,000.00	6,000.00	株式		
		貸付金勘定		
		不動産擔保貸付		
100.00	100.00	拂込金限度貸付		
1,000.00	1,000.00	給付金限度貸付		
		雜勘定		
		假拂金		
600.00		加入豫約金		600.00
		擔保見合金	100.00	100.00
		所有動產不動産勘定		
17,412.50	17,412.50	營業用土地建物什器		
		所有動產不動産		

札差金入元帳

(3) 補助金元帳

甲種千圓會一組

No. 辛 本所區形一ノ五
氏 名 吳 股 商
住 所

例	回数	年月日	掛				年月日	入札差金											
			摘要	貸方	借方	借貸		摘要	借方	貸方	残高								
(4)	1	15/1.20	入		21.00	貸	21.00												
(8)	2	2.20	"		21.00	"	42.00												
(14)	3	3.20	"		21.00	"	63.00												
(22)	4	4.20	"		21.00	"	84.00												
(35)	5	5.20	"		21.00	"	105.00												
(44)	6	6.20	"		21.00	"	126.00												

備考 1. 入札差金ノ處理ハ本例ノ如ク處理スルモ差支ナイ

No. 乙 神田區一ツ橋二ノ三
氏 名 神田 出 版 業
住 所

甲種壹千圓會一組

例	回数	年月日	掛				年月日	入札差金											
			摘要	借方	貸方	借貸		摘要	借方	貸方	残高								
(4)	1	15/1.20	入		21.00	貸	21.00												
(8)	2	2.20	"		21.00	"	42.00												
(9)	3	3.24	"		21.00	"	63.00												
(16)	2	"	給	1,254.00		借	1,191.00												
(22)	4	4.20			23.00	"	1,168.00												
(35)	5	5.20			23.00	"	1,145.00												
(44)	6	6.20			23.00	"	1,122.00												

第六章 記帳實例

掛金入札差
金残高帳

掛入札差金残高帳

甲種千圓會 開會昭和15年1月20日
滿會全 19年11月20日

總回数 60回

15年 月日	經過 回数	掛金		未給付		掛金		入札差金	備考
		口數	高	口數	高	口數	高		
1 31 1	0	0		60	54,036.00	1,260.00	0		
2 29 2		1	1,258.00	59	53,135.40	2,499.00	0		
3 31 3		2	2,512.00	58	52,234.40	3,633.00	284		
4 31 4		1	(1,258.00) 1,254.00	58	52,234.40	4,746.00	284		
5 31 5		2	(") 2,506.00	57	51,333.80	5,775.00	560		當市剩餘金 1,014.00
6 30 6	1	3	(1,258.00) 3,756.00	55	49,532.60	6,741.00	1141		(内 258.00)

備考 本帳ハ月一回調査記入ナル例ヲ示ス

掛金記入帳

掛金記入帳

總回数 60回

甲種千圓會一組

開會 昭和15年1月20日
滿會 全 19年11月20日

15年 月日	經過 回数	摘要	未給付		給付		掛金	備考	
			口數	高	口數	高			
(4) 1 20	1	甲外 59	60	1,260.00					
(8) 2 10		甲給付ス	△1	21.00					
(9) 2 20	2	乙外57甲1	59	1,218.00	2,457.00				
(11) 2 22		丙		42.00	2,499.00				
(14) 3 20	3	56	56	1,176.00	3,675.00				
(16) 2 24		乙		21.00	3,696.00				
(") 4 10		乙給付ス	△1	63.00	3,633.00	1	1,254.00	2,405.00	
(20) 4 10		甲一時徴收				△1	1,258.00	1,214.00	銷却 64.00
(22) 5 10	5	已給付ス	△1	84.00	4,662.00	1	1,252.00	84.00	2,336.00

兼 掛金記帳帳

1114

例	15年 月日	摘要	借方	貸方	残高	未 給 付 口 掛 金	給 付 口 掛 金	未 收 高	備 考
(35)	20 5	53 1							
(39)	6 5	壬給付△1	10500		1,113.00	5,775.00		23.00	2,313.00
(43)	15	丁解約△1	4200			5,628.00			
(44)	20 6	51 2	55		1,071.00	6,699.00		46.00	3,412.00
(52)	30	2			42.00	6,741.00			
計	6		55 1	31500	7,056.00	6,741.00	3 1	3,756.00	344.00
								(1,258.00)	(1,258.00)
									3,412.00
								46.00	64.00

備考 1. 給付口未收高へ業務報告書=必要ナルヲ以テ便宜本帳簿式ヲ採用スルモ可ナリ
2. 未收高=残高-(期限未経過掛金×口數)

總回数60回

乙種千圓會一組

開會昭和15年5月10日
總會全 20年3月10日

例	15年 月日	摘要	借方	貸方	残高	未 給 付 口 掛 金	給 付 口 掛 金	未 收 高	備 考
(29)	5 10	1 60							
(38)	25	子給付△1	20.00		1,200.00	1,200.00			
(40)	6 10	2 54 1	59		1,080.00	2,250.00			
(51)	30	千一時償還					△1	1,086.00	1,046.00
(52)	〃	4	63		80.00	2,340.00			
計	2		63	20.00	2,360.00	2,340.00		(1,086.00)	(1,086.00)
								0	0

帳入札差金元

入札差金元帳

甲種千圓會一組

例	年 月日	摘要	借方	貸方	残高
(8)	2 10	第一回落札給付		200.00	200.00
(〃)	〃	利益へ組入	20.05		179.95
(9)	20	第二回掛金へ充當	176.90		3.05
(11)	22	〃	3.05		0
(14)	3 20	差金立替		161.88	161.88
(〃)	〃	第三回掛金へ充當	159.04		2.84
(16)	24	第二回落札給付		180.00	182.84
(〃)	〃	立替金支拂	180.00		2.84
(32)	5 10	第三回落札給付		160.00	162.84
(〃)	〃	利益へ組入	16.48		146.36
(35)	20	第四回掛金へ充當	140.76		5.60
(39)	6 5	第五回落札給付		160.00	165.60
(〃)	〃	利益組入	16.48		149.12
(43)	15	解約=依り戻入		3.05	152.17
(44)	20	第六回掛金へ充當	140.76		11.41

無盡簿記提要

乙種千圓會一組

15年 月日	摘要	借方	貸方	殘高
(47) 6.20	第二回落札給付		20000	20000
(48) "	利益へ組入	20.20		179.80

入札差金立替元帳

甲種千圓會一組

15年 月日	摘要	借方	貸方	殘高
(14) 2.20	第二回落札分立替	161.88		161.88
(16) 3.24	立替戻り		161.88	

給付原簿

開會毎月20日

甲種千圓會一組

開會昭和15年1月20日
滿會全19年11月20日

例	給付回数	抽入札通番	加入者通番	受給付者通番	支拂濟	當落金額	入札差金	差金分配			計算會收得額	給付年月日	決裁印	摘要	
								口數	分配額	一口累計					
(6)	1	入	甲		濟	800.00	200.00	59	179.95	305	305	20.05	15/2/10	㊟	
(16)	2	入	乙		濟	820.00	180.00	57	161.88	284	589	18.12	3/24	㊟	
(15)	3	抽	丙			1,000.00							3/20		受給付 權拋棄
(32)	4	入	巳		濟	840.00	160.00	52	143.52	276	865	16.48	5/10	㊟	
(39)	5	入	壬		濟	840.00	160.00	52	143.52	276	11.41	16.48	6/5	㊟	
(45)	6	抽	辛			1,000.00							6/20		
	計				給未	3,300.00	700.00		628.87			71.13		4	2

無盡利金計算帳

無盡利金備金計算帳

甲種千圓會一組

例 15年 月日	摘要	回数		給付 回数	加入者 加氏	剩餘金	剩餘金 累計	一回 平均額	四 平均額	期末 所備金
		經過	未經過							
(8) 2.10	第一回落札金給付			1	甲	258.00	258.00			
(16) 3.24	第二回全上			2	乙	254.00	512.00			
(20) 4.10	甲一時徴收					△ 258.00	254.00			
(32) 5.10	第四回全上			4	巳	252.00	506.00			
(39) 6.5	第五回全上			5	壬	250.00	756.00			
計				6		756.00	756.00		12.60	690.40

期末組入利益額 756.00 - 680.40 = 75.60

毎回利益組入ノ場合ハ下ノ如ク

例 15年 月日	摘要	回数		給付 回数	加入者 加氏	剩餘金	一回 平均額	全 累計	利 組入額	備 現在高
		經過	未經過							
(8) 2.10	第一回落札金給付			1	甲	258.00	4.30	4.30	25.80	232.20
(16) 3.24	第二回同全上			3	乙	254.00	4.23	8.53	25.38	460.82
(20) 4.10	甲一時徴收					△ 258.00	4.30	4.23	232.20	228.62
(32) 5.10	第四回同全上			4	巳	252.00	4.20	8.43	25.20	455.42
(39) 6.5	第五回同全上			5	壬	250.00	4.16	12.59	24.96	680.46

無盡利金

給付補填備金計算帳

甲種千圓會一組

未給付口一回平均額 1圓51錢

例 15年 月日	摘要	回数		現 在口數	豫 定收 支 換 算 表 口 數	期 限 經 過 未 給 付 口 數	計	期 末 所 備 金
		經過	未經過					
(4) 1.20	成立		59	60				
(43) 6.15	了解約			△ 1				
(53) 6.30	現在	6	54	59	5	2	7	63.42

入札差金補償金計算帳

例 (59)

15年 月日	摘要	回数		補償金	備金	一回	平均	額計	期末所要
		經過	未經過						
6.30		2	58	15 ^円	8 ^円 92	0 ^円	0 ^円	8 ^円 92	17 ^円 84

入札差金補償金計算帳
乙種千圓會一組

未給付口一回平均額 2圓
同上確定額 圓 錢

元解約返戻金

例 (43)

15年 月日	通帳 番號	氏名	記事	借方	貸方	殘高	支拂		備考
							金額	年月日	
6.15	13	丁	解約	23.05	42.00	18.95	18.95		

解約返戻金元帳

貸付金限度

給付金限度貸付記入帳

例 (21)

氏名	戊	日本橋區本町1/1	職業	魚商	番號	期間	日數	利息	入金年月日
1	15/4.15	15/12.30	1,000.00	1	1,000.00	1	4.15 5.20	36	900
							5.21 6.19	30	750
日歩 @ 25 毎月 20 日拂									
擔保記入欄									
番號	種	組	號	加入名義人	拂込金額				
1	甲	1.20	本	人	6300	摘要			
住所所在建物 1棟 木造瓦葺二階 63坪									

無盡簿記提要

決算

第七章 決算

序説

第一節 序説

無盡會社の營業年度は、無盡業法第十五條に依り、一月より六月迄及び七月より十二月迄と定められて居る。而して同法第十六條に於て右營業年度間の業務報告書を大藏大臣に提出すべき事を命じ、尙同法第十七條に於ては營業年度毎に大藏大臣の定むる様式に依り貸借對照表を作成し、新聞紙に之を公告すべきことを命じて居る。之等の報告書並に貸借對照表を作成する爲めのみならず、會社自身としても一營業年度間の業績を知り且之を株主に報告し其の承認を求むる爲め、各勘定を整理し、其の期間に生じた損益の勘定を一の勘定に振替へて、純損益を算出し又諸帳簿を締切つて各勘定の期末現在高を明確ならしめねばならない。之を決算と稱する。

決算は大體左の順序に依り行はれる。

- (一) 決算準備手續
- (二) 補助簿の締切

- (三) 損益勘定の整理
- (四) 總勘定元帳の締切及び繰越日記
- (五) 本支店決算諸表の合併
- (六) 決算報告表及び利益金處分案の作成

第二節 決算準備手續

決算の準備として左の手續を採る。

- (1) 試算表の作成
- (2) 無盡利益金の組入——無盡利益備金の期末所要額計算
- (3) 給付補填備金期末所要額計算——同上繰入又は戻入
- (4) 入札差金補償備金期末所要額計算——同上繰入又は戻入
- (5) 勧誘繰延費、勧誘費及び集金費の修正
- (6) 給付口掛金の評價(銷却)
- (7) 諸貸出金の評價(銷却)

決算準備手續

無盡簿記提要

試算表の作成

- (8) 有價証券の評価——價額銷却
- (9) 其他所有物の評価——價額銷却
- (10) 假拂金の銷却

(1) 試算表の作成

決算に際し、資産、負債及び損益勘定の大體を觀、各種銷却額の決定に便にし、更に損益を決定し、一期の純損益を見ることに利用する爲め次の如き試算表を作成する。

試算表
昭和 年 月 日現在

借方			貸方		
科目	金額	修正額	科目	金額	修正額
資産			負債		
損失			利益		
合計			合計		

諸備金の計算

(2) 無盡利益金の組入——無盡利益備金の計算

無盡利益金の組入を毎回行ふ場合は、其の必要は無いが、期末に於て一回、無盡利益金の組入を爲す場合には先づ其の計算を爲さねばならない。其の順序として各組の無盡利益備金の期末所要備金額を計算する(第五章第一節参照)。而して其の合計額と日計表上の現在積立備金に對照し、其の差額を無盡利益金として計上するのである。

(3) 給付補填備金計算——給付補填備金繰入又は戻入

各組の給付補填備金の期末所要額を計算し(第五章第二節参照)、其の合計額と日計表上の現在積立額と對照し不足額ある場合は補填備金繰入の處理を爲し、過剩ある場合は戻入の處理を爲すのである。

(4) 入札差金補償備金の計算——入札差金補償備金の繰入又は戻入

各組の入札差金補償備金を計算し(第五章第三節参照)、其の合計額と日計表上の現在積立金額と對照し、不足額ある場合は繰入の處理を爲し、過剩ある場合は戻入の處理を爲すのである。

(5) 勸誘費及び集金費の修正——繰延勸誘費の處理

無盡簿記提要

勸誘集金費の修正

勸誘費を繰延べんとするときは繰延勸誘費に振替處理する（第四章第一節繰延勸誘費參照）。又集金員又は内勤員等にして勸誘に従事する者ある場合は、其の仕事の割合に應じ、集金費其の他から勸誘費へ振替處理するを要する（第四章第三節勸誘費及集金費參照）。

前期より繰越したる繰延勸誘費を期始に於て損失に振替へざる場合は、決算に於て之を一應損失に振替へ、繰延を要するものは更めて繰延勘定を起すを可とする。

(6) 給付口掛金の銷却

(7) 貸付金の銷却

給付口掛金及び諸貸付金中回收不能又は回收困難と認められるものを調査し、其の期の利益額を勘案し、古き口から銷却する事を要する。銷却は掛金又は貸付金の全部に對して行はれるを常とするが、其の一部を銷却するもの亦差支へない。銷却の計理に就ては各勘定科目の項を參照せられたい。

8) 有價證券の評価（價額銷却）

改正商法の評價規定に基けば次の如くである。

一、財産目録調製の時に於ける價格を越ゆることを得ず（商法第三四條）

二、取引所の相場ある有價證券に付ては其の決算期前一月の平均價額を越ゆる價額を附することを得

諸銷却

ず。（商法第二八五條）

無盡會社の所有し得る有價證券は特殊のものに限定せられ、其の多くは取引所の相場があるので評價には困難を感じない。尙國債に付ては次の如き特別の法律がある。

國債ノ價額計算ニ關スル件（昭和七年六月三十日法律第十六條）

國債ノ價額ヲ財産目録ニ記載スルニハ商法第二十六條第二項ノ規定ニ拘ラズ大藏大臣ノ告示スル標準發行價格

ニ依ルコトヲ得但シ其ノ取得ノ際ニ於ケル時價ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ外國ニ於テ發行シタル國債ニハ之ヲ適用セズ

帳簿價額と決算期一ヶ月平均價額と比較し、後者の多額なる場合は其の儘とし、後者が低額なる場合は其の差額だけ價額の銷却を要する。

(9) 所有物の評價（價額銷却）

商法の規定に依れば次の如くである。

一、財産目録調製の時に於ける價格を越ゆることを得ず（商法第三四條）

二、營業用の固定財産に付ては取得價額又は製作價額より相當の減損額を控除したる價額を附することを得（同上）

三、財産目録に記載する營業用の固定財産に付ては其の取得價額又は製作價額を越ゆることを得ず

(商法第二八五條)

次に臨時産業合理局に於て定められた評價準則を左に紹介する。

資産評價準則

資産評價準則抄

土地

- 一、土地は取得原價を以て評價するを原則とす
- 二、土地の取得原價は買入直接費に加工費、改良費を算入したるものとす、買入直接費とは買入代金、仲立人手數料、所有權移轉登記税、不動産取得税等とす。加工費、改良費とは地上げ、地均し、埋立、石垣、護岸、道路、下水、水道、瓦斯等に關する工事費を云ふ
- 三、買収せる土地に關し、他人所有の地上物件の移轉費、取毀費又は地上權者に補償せる金額は之を土地の原價に算入するを得べし。
- 土地賃貸に際して地上權の代價を收入したる時は土地價額をそれだけ償却すべきものとす。
- 四、賣却を目的とする土地については買入直接費、加工費、改良費の外之を賣却し得る状態に至る迄の諸支出をも原價に算入することを得。廣告宣傳費の如き販賣に關する費用は算入すべからず。

五、土地につきては減價償却を必要とせざるも、經濟事情の變化其の他の原因により地價が下落し恢復の望なき時は隣地の賣買價格又は適當の方法により之を評價して價額の切下げを行ふべし。

建 物

- 一、建物は取得原價より減價償却を行へる價額を以て評價するを原則とす。
- 經濟事情の變化其の他の原因により建物の價額が不當に高きに失するに至りたる場合には、價額の切下げを行ふを要す。
- 二、建物の取得原價は之を買入れ又は建造して營業の用に供し得る迄の諸支出を含む。
- 建物を買入れたる時は其の所得原價は買入代金の外、登録税、取得税及び利用以前に行へる修繕費、模様替費等を含むものとす。
- 建物を建造したる時は其の取得原價は設計費、材料費、工賃、監督費、建築事務所費、保険料、登録税、取得税等を含むものとす。
- 舊建物の取毀費は之を新建物の原價に算入すべからず。
- 三、建物の償却率は建物の構造、用途其の他の事情を參酌して之を算定するを要す。
- 四、改良又は修繕により建物の效用又は耐久力を増加せる場合は、増加の限度に於て其の支出を建物の價額に加ふることを得。但其の支出が少額なる時は之を損費に計上するを可とす。

五、煙房、冷房、消化、通風、除塵、昇降機、衛生設備等の附帶設備は之を建物と區別して短期間に償却するを可とす。

機械、設備、工具、什器等

一、二、三、四、略

五、工具は其の修繕又は補充に關する支出を損費に計上して、原狀を維持する限り買入代價又は製作原價を以て評價することを得べし。

六、什器の評價は建物に準ず、但減價償却は短期間に行ふべし。事業の性質によりては之を工具と同様に評價するを妨げず。

七、略

八、機械、設備、工具、什器等は每期現品調査を行ひ、廢棄、不足等につき整訂すべし。

右の法令竝に準則に依れば、建物に付ては「減價償却」を行ふべきことを定めてある。減價償却の方法は(1)等額(定額)銷却法、(2)確定率銷却法、(3)遞減率銷却法等、種々あるが、無盡會社に於ける所有建物の銷却に付ては最も簡單なる等額銷却法を採用するを可とする。即ち原價を耐久年數を以て除したる平均額を毎期の銷却額とする方法である。

此の場合耐久年數が問題であるが、稅務官廳に於ける認定範圍に依り定むることが實際的である。右認定範圍は次の如くである。

固定資産の耐久年數表

(鈴木保雄、田口卯一、松井靜郎共著)「最新會社稅務精説」ヨリ抜萃

事務所住宅用建物		種類	構造	耐久年數	種類	構造	耐久年數
煉瓦、石造	煉瓦、石造	煉瓦、石造	煉瓦、石造	七〇	附屬建物	木造	一五
鐵骨煉瓦又ハ石造	鐵骨煉瓦又ハ石造	鐵骨煉瓦又ハ石造	鐵骨煉瓦又ハ石造	八〇	金庫		五〇
鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	八〇	木製什器		一〇
鐵骨鐵筋コンクリート造	鐵骨鐵筋コンクリート造	鐵骨鐵筋コンクリート造	鐵骨鐵筋コンクリート造	八〇	自動車 自家用		四
ブロック・コンクリート鐵骨	ブロック・コンクリート鐵骨	ブロック・コンクリート鐵骨	ブロック・コンクリート鐵骨	八〇	自動車		三
鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	鐵筋コンクリート造	八〇	自轉車		三
土造	土造	土造	土造	五〇			
木骨、煉瓦、又ハ石造、木骨	木骨、煉瓦、又ハ石造、木骨	木骨、煉瓦、又ハ石造、木骨	木骨、煉瓦、又ハ石造、木骨	三〇			
鐵網コンクリート造、木造	鐵網コンクリート造、木造	鐵網コンクリート造、木造	鐵網コンクリート造、木造	三〇			

(9) 假拂金の銷却

假拂金中損失に歸したるもの、又は其の期中の損費に屬するものは之を銷却し、又は損費に振替へを要する。

補助簿の締切

第三節 補助簿の締切

補助簿は前述した如く、總勘定元帳の各勘定の内譯明細帳の性質を有するものである。各補助簿を締切り各勘定の記帳と照合し、元帳記入の正否を確める。補助簿は之を補助元帳と補助記入帳との二種に區別する事が出来るので、右區別に基き各補助簿の締切手續を説明する。

一、補助元帳の締切

無盡業は前述した如く、一組を以て計算の單位とするので、補助簿も亦其の組の終了迄連続使用し、主要諸帳簿の様に「次期繰越」の處理をするを要せず、只一期間中の貸借を締切り合計するのみで足りる。而して各合計額は朱書きし、貸借の差引金額と残高を突合はせ、尙其の残高と總勘定元帳に於ける残高と照合して、其の一致するか否かを檢する。

二、補助記入帳の締切

補助記入帳の締切も補助元帳と等しく、單に其の主要な金額欄を合計して締切り置き、之を總勘定元帳關係勘定口座の残高と突合して其の一致を檢討する。

以上の補助元帳及び記入帳中帳簿の性質上締切る要のないものは其の儘にして置く事は言ふ迄もない所とする。(第六章記帳の實例参照)

損益勘定の整理

第四節 損益勘定の整理

一期間の純損益金を計算する爲め「損益勘定」なる一科目を設定し、一切の損益勘定の借方残高又は貸方残高を本勘定に轉記するを要する。轉記する順序は利益金勘定を先にし損失金勘定を後にする。前期繰越益金のある場合は貸方へ轉記する。

記入例次の如し。

		損		益			
15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	殘	高
6.3	無盡利益金			42240			
	入札差金益			9133			
	解約手数料			2000			
	貸付金利息			2250			
	預ヶ金利息			21038			
	株式配當金 給付補填 備金繰入		6342		貸	96661	
	入札差金補 償備金繰入		1784				
	給付口掛金 銷却		6400				
	税金		360				
	勸誘費		83600				
	集金費		19821				
	給料手當		1,82000				
	旅費		352				
	無盡會諸費		3600				
	通信費		484				
	印刷費		15650				
	廣告費		3000				
	消耗品費		960				
	掛金割戻金		7856				
	雜費		32062				
	前期繰越 損金		1,41749		借	4,09359	

無盡利益金

15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 貸	殘	高
6 30	日記帳			42240	貸	42240	
" "	損益		42240				
	計		42240	42240			

税金

15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 貸	殘	高
1 16	日記帳		180		借	180	
5 4	"		180		"	360	
6 30	損益			360			
	計		360	360			

第五節 總勘定元帳の締切及繰越日記

各勘定の整理、記帳の正否を確めた後總勘定元帳に於ける各勘定の締切をする。

(一) 資産、負債及び資本金勘定に屬する各勘定口座に就ては、其の貸借差引残高を残高が「借」の場合(貸借記入金額を合計するときは借方の金額は少い)は貸方へ、残高が「貸」の場合(貸借記入金額を合計するときは借方の金額は少い)は借方へ「次期繰越」として朱記し、其の口座の貸借を平均させて締切る。

日附は決算の日附とする。

(二) 損益勘定の締切も前項と同じく残高が「借」の場合は貸方へ、「貸」の場合は借方へ「前期損益(註)」として其の貸借を平均させて締切る。

貸方に残高ある場合は利益金を示し借方に残高ある場合は損失金を示す。

註 損益の處分を決するのは決算の次の期に於て爲すから前期損益と稱する。

以上締切つた各口座の残高を次期へ繰越すには直接元帳で其の手續を行はず、一度是等を日記帳に記入し同帳より總勘定元帳へ轉記し之に依つて繰越を行ふものとする。此の日記帳を繰越日記と稱する。

(三) 繰越日記は、日記帳の上部欄外に繰越日記と記載し、決算日の翌日即ち次期の最初の日附で資産勘定、即ち總勘定元帳に於て借方残高(但し現金は除く)あるものは貸方に記入し、負債及び資本主勘定即ち總勘定元帳に於て貸方残高あるものは借方に各合計欄に記入し、尙損益勘定の残高は前期損益なる名稱を以て、曩に述べた様に純利益であれば借方に、純損失であれば貸方に記入する。この様にして貸借各々を合計すれば借方合計欄の和は貸方合計欄の和よりも現金勘定の残高だけ多額となるので、此の差額を本日残高として貸方合計に加へ、日記帳を締切るものとする。

而して繰越日記帳より總勘定元帳への轉記法は普通日記帳より轉記する場合と同様である。總勘定元帳の締切竝に日記帳の一例を掲げる。

資本金

15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	残高
1 1	繰越日記			100,000 00	貸	100,000 00
6 30	次期繰越		△ 100,000 00			
	計		100,000 00	100,000 00		

當座預金

15年 月日	摘要	日 丁	借方	貸方	借 又 貸	残高
1 1	繰越日記		24,000 00		借	24,000 00
(27) 5 3			1,000 00		"	25,000 00
(28) " 2				1,000 00	"	24,000 00
(55) 6 30			2,000 00	10,000 00	"	16,000 00
(56) " "	次期繰越			△ 16,000 00		
	計		27,000 00	27,000 00		

借方

繰越日記

昭和15年7月1日

貸方

摘要	元子	振替	現金	合計	摘要	元子	振替	現金	合計
未給付口掛金				9,083 00	現金				1,174 11
入札差金				191 21	銀行預金				26,000 00
解約返戻金				18 95	給付口掛金				4,458 00
給付補填備金				63 42	株式				6,000 00
入札差金補償備金				17 84	拂込金限度貸付				100 00
無盡利益備金				763 60	給付金限度貸付				1,000 00
擔保見合金				100 00	醫藥物件				17,412 50
資本金				100,000 00	拂込未済資本金				50,000 00
計				110,238 02	前期損益				4,093 41
					計				110,238 02

本支店決算
諸表の合併

第六節 本支店決算諸表の合併

支店を有する無盡會社に在つては、各支店よりの決算報告書の到着を待ち、會社全體の貸借対照表及び損益計算書の作成を要する。之が爲め本支店双方の貸借対照表及び損益計算書を合併せねばならない。此の合併に當り本支店間の勘定即ち本店の支店勘定と支店の本店勘定とは、常に同一金額が貸借反對に現はれるが故に、此の兩勘定は自然に相殺せられて合併表より除去せられるものとする。

右は支店一ヶ所の場合と數ヶ所ある場合とに依り其の結果を異にしない。

即ち本店の貸借対照表に於ける各地支店勘定の合計が各支店に於ける同表上の本店勘定の金額を合算のものと貸借符合して、相殺せられるものとする。上述の様に本支店双方の貸借対照表を合併するに當り、銀行等に於ては屢々相殺する事が出来ない場合を生ずる事がある、無盡會社に於ては前述した如く本支店間の取引極めて簡單なのでこの様な場合を生ずる事は稀であるが、萬一相殺する事が出来ない場合を生じた時は、其の差額を「未達勘定」なる科目を設けて處理するものとする。

次に支店純損益金の處理法を述べ。

無盡會社全體の純損益金を見出す爲め、各支店の純損益金を本店の純損益に合算するを必要とする。

之を本店に歸屬するものとなし、支店損益勘定の貸借差額は決算日の日附で本店との貸借關係に振替へるものとする。

仕譯法左の如し。

純益金のあつた場合、

(借) 損 益 (貸) 本店勘定

純損金のあつた場合、

(借) 本店勘定 (貸) 損 益

而して之等の損益金額は通例決算期日中に電報又は電話で報告せられる。本店の帳簿は此の報告を待つて締切る事となる。

本店に於ける仕譯法左の如し。

支店純益金合算の場合、

(借) 何 支 店 (貸) 損 益

支店純損金合算の場合、

(借) 損 益 (貸) 何 支 店

第八章 決算報告表及利益金處分案の作製

- (一) 主要簿及び補助簿の締切を終れば、本店は本店だけの決算報告表即ち貸借対照表、損益計算書及び財産目録を作製し、支店ある場合各支店よりの決算報告書の到着を待つ。
- (二) 支店ある場合は、各支店よりの決算報告書が到着したら、本店にて本支店合併の貸借対照表、損益計算書及び財産目録を作製する。
- (三) 次に各支店の純損益金を本店の純損益金に加へ、無盡會社全體の純損益金を算出する。
- (四) 本支店全體の純損益金定まれば、其の處分案を重役會に於て決定し、決算報告書類と共に右處分案を株主總會に提出し、其の決議を経た上、前期損益勘定を諸積立金、配當金等の諸勘定に振替へ茲に一期間の決算を結了するのである。

利益金處分仕譯例

(借) 前期損益勘定	四、二四五、四〇
(貸) 法定準備金	五〇〇、〇〇

任意積立金	一、〇〇〇、〇〇
配當金	一、八七五、〇〇
後期繰越金	八七〇、四〇

次に無盡會社の決算報告表即ち貸借対照表、損益計算書及び財産目録の各雛形竝に實例を示す。

第二期末昭和十五年六月三十日現在貸借対照表

資 産 (借方)		金 額	負 債 (貸方)		金 額
現金預ケ金勘定		二七、一七三、 ^四 九三	無 盡 勘 定		一〇、一三八、 ^四 二
現 金		一、一七三、九三	未 給 付 口 掛 金		九、〇八三、〇〇
銀行預ケ金		二六、〇〇〇、〇〇	入 札 差 金		一九、一三一
郵便貯金		〇	解 約 返 戻 金		一八九五
無 盡 勘 定		四、四五八、〇〇	給 付 補 填 備 金		六三、四二
給付口掛金		四、四五八、〇〇	入 札 差 金 補 償 金		一七八四
入札差金立替金		〇	其 他 備 金		七六三、六〇
入札差金立替金		〇	無 盡 利 益 備 金		〇
舊無盡給付資金		〇	舊無盡給付資金		一〇、〇〇〇
有價証券勘定		六、〇〇〇、〇〇	假 受 金		〇
國 債		〇			
地 方 債		〇			
債 券		〇			

株 式		金 額	株 主 勘 定		金 額
貸付金勘定		六、〇〇〇、〇〇	資 本 金		一〇、〇〇〇、〇〇
有價証券擔保貸付		一、一〇〇、〇〇	法 定 準 備 金		〇
不動産擔保貸付		〇			
拂込金限度貸付		一、〇〇〇、〇〇			
給付金限度貸付		一、〇〇〇、〇〇			
代 理 店 貸 金		〇			
假 拂 金		〇			
營業用土地建物什器		一七、四一三、五〇			
所有動産不動産		〇			
株 主 勘 定		五四、〇九三、五九			
拂込未済資本金		五〇、〇〇〇、〇〇			
當 期 損 失 金		四、〇九三、五九			
(内前期繰越損金)		(一、四一七、四九)			
合 計		一〇、一三八、〇二	合 計		一〇、一三八、〇二

備考 支店ヲ有スル無盡會社ハ本表(本支店合併貸借対照表)ノ外本店及各支店ノ貸借対照表ヲ本表ノ様式ニ準ジテ作成添付スベシ

第八章 決算報告表及利益金處分案の作製

本支店別貸借対照表ニハ本店及各支店間ニ於ケル勘定ヲモ記載スベシ

第二期昭和十五年 自一月一日 至六月三十日 損益計算書

〇〇無盡株式會社

利益金		損失金	
金額	種類	金額	種類
四二二四〇	無盡利益金	六三三四二	給付補填備金繰入
九一三三	入札差益	一七八四	其他札備金繰入
二〇〇〇	解約手数料	六四〇〇	給付口掛金銷却
二二五〇	貸付金利息	〇	貸付金銷却
二一〇三八	預ケ金利息	三六〇	税金
〇	有價證券利息	八三六〇〇	勸誘費
二〇〇〇〇	株式配當金	一九八二一	集金費
〇	不動産賃貸料	一、八二〇〇〇	給料
〇	銷却債權取立益	三五二	旅費
〇	雜益	三六〇〇	無盡會諸費
			額

利益金		損失金	
金額	種類	金額	種類
九六六六一	計	七八五六	掛金割戻金
〇	前期繰越金	三、六四二七一	計
〇	戻入	一、四一七四九	前期繰越損金
四、〇九三五九	当期損失金	〇	当期利益金
(一、四一七四九)	(内前期繰越損金)	〇	(内当期純益金)
五、〇六〇二〇	合計	五、〇六〇二〇	合計
			通信用費
			印刷費
			一五六五〇
			印費
			〇
			營業費
			九六〇
			消耗品費
			三〇〇〇
			廣告費
			三〇〇〇
			雜費
			三三〇六二
			雜損
			〇
			計
			三、六四二七一
			前期繰越損金
			一、四一七四九
			当期繰越損金
			〇
			当期損失金
			四、〇九三五九
			(内前期繰越損金)
			(一、四一七四九)
			合計
			五、〇六〇二〇
			合計
			五、〇六〇二〇

第 期昭和	年 自	月	日	準備金及 利益ノ配當ニ 關スル書面
當期純益金				圓
前期繰越金				圓
房 入				圓
合計當期利益金				圓
之ヲ處分スルコト左ノ如シ				
法定準備金				圓
任意積立金				圓
賞 與 金				圓
配 當 金(一株ニ付 年割分ノ割圓)				圓
後期繰越金				圓

記帳實例の場合

第二期昭和十五年 自一月一日起至六月三十日 損失金ニ關スル書面

當期純損金 貳千六百七拾五圓六拾貳錢也
 前期繰越損金 壹千四百拾七圓四拾九錢也
 合計當期損失金 四千九拾參圓四拾壹錢也
 之ヲ處分スルコト左ノ如シ
 後期繰越金 四千九拾參圓四拾壹錢也

第九章 業務報告書の作成

無盡會社は前述せる如く毎營業年度毎に業務報告書を大藏大臣に提出せねばならない。而して之が雛形は無盡業法施行細則の附屬雛形として示されて居る。

今其の雛形に基き箇々の項目に付作成の資料竝に之が作成上の注意を述べて見る。報告書の様式は次の如くである。

第一期業務報告書

昭和 年 月 日ヨリ同年 月 日ニ至ル間ノ業務ノ成績左ノ通及報告候也

昭和 年 月 日

縣府 郡市 村町 番地

無盡株式會社

取締役 氏

取締役 氏

取締役 氏

名 印

名 印

名 印

大藏大臣

殿

目次

一第 期營業報告書

二第 期末貸借對照表

三第 期損益計算書

四第 期準備金及利益ノ配當ニ關スル書面

一第 期昭和 年自 月 日營業報告書

無盡株式會社

、 監 査 役 氏

、 名 印

第一項 營業ノ景況

本項には本支店に於ける營業日數、無盡契約及び無盡取引の増減、資金の運用其の他重要な事項に

無盡簿記提要

關する狀況を記載するを要する。

無盡取引に就ては給付、掛金、各種備金等に分ち記載し、前期末との對照を示し、資金の運用に就ては各種運用金額、割合、前期末に對する増減等を記載すべきものである。其の他重要な事項とは、決算等に關する事項を記載すべきものである。之等の事項を表に纏めることも一良法である。

第二項 營業所及代理店

		一 當期間ニ於ケル營業所及代理店ノ増減			
		前期末現在數	當期増加數	當期減少數	當期末現在數
支店					
出張所					
代理店					
計					
二 當期末現在營業所及代理店ノ位置					
店名	位置				

出張所、代理店は認可を受けたるものを記入することは云ふ迄も無い。

〔資料〕 營業日誌其の他（庶務の要件と一致するを要す）

第三項 株 主 總 會

本項には總會の種類、總會開會の年月日及び總會に於て決議したる事項、其の他總會に關する重要な事項の要領を記載する。

〔資料〕 株主總會決議錄

第四項 庶 務 ノ 要 件

本項に付商業登記簿に登記を受けたる事項、官廳に申請又は届出を爲したる事項、監査書備付年月日及び訴訟其の他重要な事の要項を記載するものである。

従來の報告書に依れば本項は極めて簡便に取扱はれて居るが、會社の一つの沿革史の資料となるものであるから成る可く詳細に記載するを要する。

〔資料〕 營業日誌其の他

第五項 資本金

一 當期間ニ於ケル増減		前期末現在高	當期増加高	當期減少高	當期末現在高
資本金	円		円	円	円
内 拂込高					
拂込未済高					

【資料】總勘定元帳

二 當期末現在株式ノ種類(一株ノ金額)		圓	
株式種類	株數	拂込済ノモノ	拂込未済ノモノ
		株數	円
優先株	株數	円	円
普通株	株數	円	円
合計	株數	円	円

三 當期間中株式ノ移轉		一株ノ拂込額	株數	一株ノ普通價格	其ノ他ノ方法ニ依ル移轉株數
株式種類	株數	円		円	
普通株	株數				
同					
優先株	株數				
同					
計					

當期間中株式の移轉 一株普通價格は賣買の實例に依り難きときは見込に依り之を記載する。
 【資料】株式臺帳、株式賣買帳等

第六項 準備金		前期末現在高	當期増加高	當期減少高	當期末現在高
種類	金額				
法定準備金					
別途積立金					
職員退職給與基金					

計

【資料】 總勘定元帳、増加高は前期業務報告利益處分案と一致するを要する。

減少高は損益計算書の利益戻入額と一致すべきものである。

第七項 無盡契約

区分	前期末		当期増加高		当期減少高		當期末
	組數	金額	組數	金額	組數	金額	
東京式							
大阪式							
折衷式							
計							

【資料】 特に本項を處理する爲め帳簿を設くるを可とする。

作成上の注意

- 1 本表には満會無盡にして取引未了のものもあるも算入しない。而して各式の當期末現在高は「二 當期末現在無盡契約ノ狀況」中各式の給付金契約高計に一致すべきものである。
- 2 當期減少高中解約高の中には給付口解約（掛金全額一時償還のもの）をも含めるのである。

二 當期末現在無盡契約ノ狀況

種類	回數		給付金契約高		掛金		契約高		給付金	入札差	無盡利
	組數	金額	組數	金額	組數	金額	組數	金額			
東京式											
大阪式											
折衷式											
計											

本表は「進行中のもの」と「満會のもの」（但し取引未了口ある場合）との二つに分けて作成するを要する。

【資料】 掛金入札差金残高帳又は掛金記入帳及び各種備金計算帳

作成上の注意

- 1 本表は東京式、大阪式、折衷式に区分する。
- 2 種類は事業方法書に記載したる種類に依る。依つて協定後の無盡にありては、例へば東第一號（略して東一）、大阪第十號（大阪一〇）等記載し、協定前の無盡にありては、例へば甲種千圓會或は何種五百圓會等記すものとす。而して同一式内に於て協定前のものと協定後のものとに分ちて記入するを可とす。

無盡簿記提要

- 3 期間の長きものより記載し同一期間のものは成立順に記入するものとす。
- 4 同一種類の無盡にありては金額別にするを便とするを以て金額別成立順に記載するを可とす、但し成立順に記載し金額を異にしたるもの、交錯するも妨げなし。
- 5 同一種類の無盡には「小計」を附し、式別には「何々式計」を附し、本支店毎に「本店合計」「何支店合計」を附し、最後には「本支店總計」を附するものとす。
- 6 回数、桁に掛金回数を記したる場合は其の旨表の末尾に附記すべし。
- 7 給付金契約高、未給付高経過に記載せらるゝ金額は、一口當給付金額に経過回数より給付口缺口数を差引きたる數を乗じたる額より給付高を差引きたる額に一致するものとす、但し回数が掛金回数の場合此の限に在らず。
- 8 同上未給付高未経過の金額は一口當給付金額に未経過回数より未給付口缺口数を差引きたる數を乗じたる額に一致するものとす、但し回数が掛金回数の場合此の限に在らず。
- 9 現在口数が経過回数に満たざる場合に於ては前二項に依り難き場合を生ずるを以て留意を要す。
- 10 給付金契約高の本支店總計は第七項一、三、四等の給付金額計に一致すべきものとす。
- 11 組替の結果給付口のみ残りたるものは各式の末尾に一括記載するを可とす。
- 12 無盡利益を満期組入となす會社に於て、一部の組に付原則組入を爲したるものあるときは、便宜組名の頭に○印を附すること。

- 13 掛金契約高、給付口受入未済高本支店總計と別表満會無盡給付口受入未済高本支店總計との合計は、給付口掛金當期末現在高と一致するものとす。
- 14 同上未給付口受入済高本支店總計と別表満會無盡未給付口受入済高本支店總計との合計は、未給付口掛金當期末現在高と一致するものとす。
- 15 入札差金補償其の他備金ある場合は一桁設くるものとす、但し給付補填備金なきときは同桁を便宜利用するも差支へなし。
- 16 各種備金の本支店總計は各種備金の當期末現在高に一致するものとす。

次に記載例の一部を示す。

甲種千圓會一	東京式	本店	組別	種類	期間	回数		口数	缺口数		給付金契約高		計	
						経過	未経過		未給付	給付	経過	未経過		
五年						五	九	八	三	〇	〇〇〇,〇〇〇	〇	〇	〇〇〇,〇〇〇

	二	五年	五	一〇	五	三	二	四,〇〇〇,〇〇〇	三,〇〇〇	七,〇〇〇	五,〇〇〇
	三	五年	六	三	五	六	一	四,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇	六,〇〇〇	五,〇〇〇
小計	三組				一五	二二	三	一三,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	一五,〇〇〇
東京式計	三組				一五	二二	三	一三,〇〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一三,〇〇〇	一五,〇〇〇
大阪式											
東一	五年	七	五	六	一〇,〇〇〇	五,〇〇〇		一〇,〇〇〇	五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一三,〇〇〇
福一	五年	八	五	一	六,〇〇〇	二,〇〇〇		六,〇〇〇	二,〇〇〇	五,〇〇〇	六,〇〇〇
福二	五年	七	五	一	六,〇〇〇	二,〇〇〇		六,〇〇〇	二,〇〇〇	五,〇〇〇	六,〇〇〇
福三	五年	六	五	一	四,〇〇〇	二,〇〇〇		四,〇〇〇	二,〇〇〇	五,〇〇〇	六,〇〇〇
小計	四組				三六	九		三六,〇〇〇,〇〇〇	九,〇〇〇	三六,〇〇〇	三九,〇〇〇
大阪式計	七組				一九,八九六	八,七五〇,〇〇〇		一九,八九六	八,七五〇,〇〇〇	一九,八九六	二〇,〇〇〇
本店合計	七六組				三〇〇,〇〇〇	六八八,〇〇〇		八二一,〇〇〇	一一三,一〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	一一三,一〇〇,〇〇〇

本支店總計	九七組				三九,三三四	一,〇一〇,〇〇〇		一,〇四九,三四〇,〇〇〇	一,六八〇,〇〇〇	三九,三三四,〇〇〇
-------	-----	--	--	--	--------	-----------	--	---------------	-----------	------------

B 満會無盡にして取引未了のもの
作成上の注意

- 1 様式は「無盡契約ノ狀況」本表の例に依り別表となすものとす。
- 2 満會年月は回数桁を利用し便宜記入するを可とす。
- 3 未給付口にして取引未了のものある場合も併せ記載するものとす。
- 4 小計、式別計、店合計、本支店總計を附すること本表に同じ。

過渡的處理法として、昭和十四年十二月二十七日藏銀第三八六五號銀行局長通牒を以て
「ニ 給付補填備金及無盡利益備金若ハ入札差金補償備金ニ付積立不足アル場合ハ本表末尾ニ各種
備金ノ所要額及補填ノ經過概要等ヲ記載スベシ」
と命ぜられたので右に該當するものは進行中の表の次に左の如き表を添附するを要する。

各種備金不足額並補填經過概要

種別	所要額	積立額	當期補填額	不足額	摘要
----	-----	-----	-------	-----	----

作成上の注意

- 1 概要には「組入利益留保ニヨリ補填」又は「一般利益ヨリ補填」等記すこと。
- 2 無盡利益を満期組入れする場合の所要備金は掛金剩餘額の全額とす、但し一部の組に付原則組入れを爲したるものある場合は次の如く記載するものとす。

種別	=入組則原 ノモルヨ		=入組會滿 ノモルヨ		積立額	当期補填額	不足額	摘要
	給付補填備金	無盡利益備金	給付補填備金	無盡利益備金				
組數	10	10	10	10				
所要額	三、八〇二、五〇〇	一〇七、四四八、〇〇〇	二六、一三九、〇〇〇	四〇〇、五三三、〇〇〇				
積立額	三、八〇二、五〇〇	一〇七、四四八、〇〇〇		三六、八九〇、〇〇〇				
当期補填額								
不足額							一、五、六三〇、〇〇〇	
摘要	○本表組名ノ頭ニ印ヲ附ス		無盡利益備金ト通算計算ヲ爲シ積立ヲ爲サズ					

3 各種備金積立額が所要額と一致せる會社にありては便宜其の旨末尾に附記すること。

三 當期末現在無盡給付金契約高期間別

期間別	組數	口數	給付金契約高
一年迄			
二年迄			
三年迄			
四年迄			
五年迄			
六年迄			
七年迄			
八年迄			
九年迄			
十年迄			
計			

【資料】無盡契約狀況調書

作成上の注意

満會無盡にして取引未了のものある場合は計欄のみに其の口數、金額を左傍に外書すれば足る。

四 當期末現在無盡給付金契約高給付金額別	
給付金額別	組 數 口 數 給付金契約高
百圓迄	
三百圓迄	
五百圓迄	
千圓迄	
二千圓迄	
三千圓迄	
四千圓迄	
五千圓迄	
壹萬圓迄	
計	

【資料】 無盡契約狀況調書

作成上の注意

満會無盡にして取引未了のものある場合は、計欄のみに其の口數、金額を左傍に外書すれば足る。

五 當期末現在無盡給付金契約高職業別									
種 別	農 業		商 業		工 業		其、他		計
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	
給付金契約高		円		円		円		円	
給付高									円

【資料】 掛金入札差金元帳

作成上の注意

満會無盡にして取引未了のものある場合は、其の口數、金額を各左傍に外書するものとす。

六 當期末現在無盡給付金契約高郡市別	
郡 市 別	口 數 給付金契約高

計	内 訳				
	區	區	區	市	郡

【資料】 掛金入札差金元帳

作成上の注意

満會無盡にして取引未了のものある場合は、未了口のみ計欄に外書すれば足る。
市内譯の區を記載するは六大都市にのみ限る。

第八項 無盡取引諸勘定

一 給付口掛金

(イ) 當期間ニ於ケル増減

内延滞高	進行中	給付口掛金	前期繰越高	當期増加高	當期減少高	當期銷却高	當期末現在高
			円	円	円	円	円
満會							

【資料】 總勘定元帳、掛金記入帳

作成上の注意

1 「内延滞高」當期末現在高「満會」分は「無盡契約、狀況」別表満會無盡の受入未済高總計に一致するものとする。
「進行中」の金額は毎月末未收高を調査せざる向は各組毎に左の方法に依り算出し得べし。

期末受入未済高 = (一口當期限未経過掛金 × 給付口數) = 期末延滞高

2 當期銷却高は損益計算書「給付口掛金銷却」の額と一致すべきものとする。

給付口掛金	(ロ) 當期末現在給付口掛金擔保別				
	不動産	有價證券	債	權	動産

円	円	円	円	円	円	円	円
---	---	---	---	---	---	---	---

【資料】 掛金入札差金元帳、擔保物臺帳

作成上の注意

現金擔保の場合は便宜動産に包含せしめ置くものとす。

二 未給付口掛金

前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期解約返	当期末現在高
円	円	円	円	円

【資料】 總勘定元帳、(以下何等記載なきものは凡て總勘定元帳とす)。

作成上の注意

当期解約返戻確定額は「四解約返戻金、当期増加高」と一致すべきものとす。

三 入札差金

前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円

四 解約返戻金	円	円	円
前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円

五 無盡利益備金	円	円	円
前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円

作成上の注意

- 1 例外(ロ)の組入を爲す會社にありては当期減少高は当期増加高の範圍内にあるものとす。
- 2 当期減少高は「無盡利益金」と一致するものとす、但し満期利益組入を採用する會社にして給付補填金を積立てず本勘定より振替ふる所に於ては、右補填備金へ振替へたる額を「当期減少高」に内書するを以て、当期減少高より右内書の金額を差引きたるものが「無盡利益金」に一致するものとす。
- 3 貸方舊無盡給付資金のある會社は「九 舊無盡給付資金ノ項」を参照のこと。

六 給付補填備金			
前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円

作成上の注意

- 1 当期増加高は「給付補填備金繰入」額と一致するものとす、但し満會利益組入を採用する會社に於て無盡利益備金より振替ふる場合に於ては、無盡利益備金減少高内書の金額と一致するものとす。
- 2 一部一般利益より一部無盡利益備金より振替へたる場合は「給付補填備金繰入」額と無盡利益備金内書の合計額が当期増加高に一致するものとす。

七 入札差金補償備金			
前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円

給付補填備金の例に準じ記載すること。

八 入札差金立替金			
前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円
九 舊無盡給付資金			
前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期末現在高
円	円	円	円

本勘定口には当期増加高は起らざるものとす。

第九項 有價證券

一 當期間ニ於ケル増減					
種別	前期繰越高	当期増加高	当期減少高	当期價格引却高	当期末現在高
國債	円	円	円	円	円
地方債					

無盡簿記提要

貸付に付ては各種擔保物の時價に相應する貸付額を區分して記載するを要する。

第十一項 預ケ金

種類	前期繰越高	當期預ケ入高	當期引出高	當期銷却高	當期末現在高
當座預ケ金		円			円
通知預ケ金					
定期預ケ金					
計					
郵便貯金					
合計					

第十二項 代理店貸

前期繰越高	當期增加高	當期減少高	當期銷却高	當期末現在高
円	円	円	円	円

本項には代理店に於て保管する金額のみに付記載し、代理店主に對する貸付又は代理店に於て取扱たる貸付若くは預け入れたる金額に付ては、各該當事項に之を記載するを要する。

當期銷却高は損益計算書の當該金額と一致するものとす。

第十三項 假拂金

第十四項 假受金

前期繰越高	當期增加高	當期減少高	當期銷却高	當期末現在高
円	円	円	円	円

作成上の注意

右二つの勘定には左の如き内譯を附するを要する。

小科目	目口數	金額	摘要
		円	

【資料】 假拂金及假受金内譯簿

第十五項 營業用土地建物什器

一 當期間ニ於ケル増減		前期繰越高	當期增加高	當期減少高	當期價額銷却高	當期末現在高
		円	円	円	円	円
二 當期末現在高内譯						
種	類	數	量	價	額	
土	地		坪	坪	坪	
建	物	棟	坪			
什	器		點			
計						

【資料】 所有物臺帳

作成上の注意

當期價額銷却高は損益計算書の當該金額と一致すべきものとす。

第十六項 現金

一 當期間ニ於ケル増減		前期繰越高	當期入金高	當期出金高	當期末現在高
		円	円	円	円

作成上の注意

當期入金高及び當期出金高は、總勘定元帳の借方及び貸方の總額を記入するものとす。

二 當期末現在高内譯		當期末現在高	貨	幣	銀行	券	小切手利札ノ類
		円	円	円	円	円	円

【資料】 現金有高内譯帳

作成上の注意

不渡小切手又は支拂期限の到來せざる利札の如きは算入せざること。

第十七項 損益

当期総益金	金	額	前期ニ對スル増減(△)額	前々期ニ對スル増減(△)額
内 前期繰越金	円		円	円
当期繰越損金				
(内 前期繰越損金)				
差引 当期金				
内 当期金				

第十八項 當期末現在株主及其ノ持株數

株式(圓拂込済)	株式(圓拂込済)	合計	住所	氏名
計	計			

【資料】株主名簿

作成上の注意

- 1 株は全額拂込済のもの或は十二圓五十錢拂込済のもの等に區分して記載するものとする。
 - 2 取締役又は監査役たるべき資格株ある場合は、其の資格株を有せざる株主に付ては其の人員及び持株總數の記載に止むることを得。
 - 3 株主の住所は町村名の程度に止むることを得。
 - 4 本項は別表に記載するも差支ない。
- 以上は主として無盡業法施行細則に定められた雛形に基いて述べたのであるが、會社に依りては、其の他の勘定科目を採用して居る所が少く無い。かゝる場合に於ては其の性質最も近似せるものゝ例に準じ別に項目を設け、適當の場所に之を記載するを要する。期末残高なき場合に於ても當期中増減ある場合は前項に準じ記載するを可とす。

尙本報告書は之を横書し、數字はアラビア數字を用ひても差支ない。

二 第 期末昭和 年 月 日現在貸借對照表

様式前掲(第二五六頁参照)に付省略す

無盡簿記提要

三 第 期昭和 年 自 月 日 損益計算書

様式前掲(第二五八頁参照)に付省略す

四 第 期昭和 年 自 月 日 準備金及利益金ノ配當ニ關スル書面

様式前掲(第二六〇頁参照)に付省略す

第 期末昭和 年 月 日 現在財産目録

財産目録に就いては無盡業法施行細則には其の雛形を示して無いが、商法の規定に基き作成を要するものである。而して従來のものは大部分誤つて居つた、即ち單に資産のみを掲げて居るが、之は負債の部も必要なのである。其の様式は命令を以て定めらるゝことになつて居り、(商法中改正法律施行法第四九條)本稿執筆迄公布せられて居ないので茲では省略する。

無盡簿記提要終

昭和十五年六月一日印刷
昭和十五年六月八日發行

無盡簿記提要
定價金參圓

東京市神田區一ツ橋二丁目三番地
編輯者 吉澤新作
東京市荒川區日暮里町八丁目一二五番地
印刷者 田中正

發行所 社団法人全國無盡中央會
東京市神田區一ツ橋二丁目三番地
電話九段一五四九番
振替東京六三二九〇番

不許複製

403
202

終

